

平成25年2月26日

「新図書館等の実施設計に関する説明会」でのご意見・ご質問に対する事務局の考え方について

日時・場所	四万十会場:平成25年1月25日(金) 午後6時30分～ 四万十市立中央公民館 1階大会議室	
	安芸会場 :平成25年1月26日(土) 午後2時30分～ 安芸商工会館 2階大ホール	
	高知会場 :平成25年1月27日(日) 午後2時30分～ 高知市総合あんしんセンター 3階大会議室	
参加者数	計 80人	四万十会場 14人、安芸会場 14人、高知会場 52人

※各会場において発言された意見等と意見・質問票で提出された意見等の概要を整理して掲載しています。

【四万十会場】

No.	大分類	小分類	意見・質問の概要	事務局の考え方
1	設計	全体	・高知県産のものを多く取り入れた設計としてほしい。特に、木を多く使ってほしい。	・県産材をエントランスロビーや開架・閲覧スペースの天井に活用するほか、館内の家具等にもできるだけ多く使用したいと考えています。また、土佐っくいの活用なども検討しています。
2	設計	全体	・北出入口から総合案内までに距離があるが、車いす使用者が来館したときのために、北出入口にインターホンを設置するのか。	・1階の北出入口には、インターホンを設置するようにはしていませんが、車いす使用者が車で来館された場合は、近くに常駐する警備員が案内するなどの対応を考えています。
3	設計	全体	・(点字の読めない視覚障害者は)音声案内装置の押しボタンの位置が分からないので、工夫してほしい。	・1階の総合案内で音声案内の受信機をお貸しし、装置に近づくと自動で音声案内が流れる仕組みを検討しています。また、総合案内で申し出ただけであれば、スタッフが各施設へご案内します。
4	設計	図書館	・書架の転倒防止対策はどのようにするのか。	・建物本体を免震構造にするとともに、書架は床に固定します。
5	設計	図書館	・児童コーナーは、子どもが楽しく本を読めるような色合いや書架にしてほしい。	・児童コーナーは、天井のデザインや書架を工夫するなど、子どもたちが楽しめる雰囲気になりたいと考えています。
6	設計	駐車場	・駐車場を初めて利用する際、進入の仕方などが分かりやすいように工夫してもらいたい。	・駐車場の出入口などが分かりやすいようにサインを工夫するとともに、警備員を常駐させ、必要に応じて車の誘導も行う予定です。
7	設計	その他 (情報システム)	・市町村立図書館を通じた資料の貸し出しについて、FAXだけでなくインターネットも活用できるようにするなど、県と市町村とのやり取りが効率的にできる仕組みを考えてもらいたい。	・新たに構築する図書館情報システムでは、従来のFAXに加えて、インターネットによる貸出申込みもできるようにする予定です。
8	運営	図書館	・地域の情報拠点として、どんな情報をどのように提供していくのか。	・日常生活はもとより、産業・ビジネスに役立つ資料やデータベースの充実を図り、図書館の資料・情報を通して、本県の重要課題である産業振興や健康長寿県の実現に資することを目指します。 このため、新図書館の3階には、「健康・安心情報」、「ビジネス・農業・産業支援」、高知県関係資料に関する各専用スペースを設けるとともに、全館(一部を除く)で無線LANへの接続を可能にし、紙の資料と電子メディアを同時に利用できる環境を整えます。さらに、2階と3階の開架フロア内に「グループ研究室」を設け、図書館の資料・情報を用いたディスカッションや様々な検作作業もできるようにします。
9	運営	図書館	・ソフト面でのメリットが分かりにくい。ソフト面の検討にも十分に力を注いでもらいたい。	・ソフト面では、図書・雑誌等の資料が大幅に増加することや、レファレンス・サービスが充実すること、電子メディアと連携して資料が利用できることなどが大きなメリットになると考えています。現在、具体的な機能や内容について検討を重ねていますので、内容がある程度まとまりましたら、分かりやすくイメージできるような方法で県民・市民の皆様にお知らせしたいと考えています。
10	運営	図書館	・ハード面では十分な整備がされると感じるだけに、開館後のソフト面の充実にも力を入れてほしい。特に、高知市への一極集中型の施設とならないよう、市町村立図書館との連携を充実させてほしい。	・県立図書館では、県内全域へのサービス展開として、市町村立図書館等を窓口にした資料の貸出しを行っていますが、新図書館の開館後は、資料の協力貸出しや長期貸出しをさらに充実させるとともに、開館日は毎日発送できるようにします。 また、市町村立図書館等の職員に対する研修の充実や個別相談への対応のほか、新たに出版される児童書を全点購入し、市町村立図書館等や学校図書館の資料選定に活用できるようにするなど、支援を充実させます。
11	運営	こども科学館 点字図書館	・高知市以外の市町村に居住する県民は、点字図書館やこども科学館(仮称)をどのように利用できるのか。	・いずれの施設も、県内全域を対象にサービスを提供することとしており、居住地による区分なくご利用いただけます。
12	運営	こども科学館	・(高知市以外の市町村に)出張して来てほしい。	・サイエンスショーや展示アイテムの移動先での展開について、どういったものが可能なのか、移動方法も含めて検討していきます。

【安芸会場】

No.	大分類	小分類	意見・質問の概要	事務局の考え方
1	設計	全体	・郡部の利用者は荷物の多い場合があるが、館内に利用者用のロッカーはあるのか。	・1階のエントランスロビー（北出入口付近）のほか、2階以上の各階（共用エレベーター付近）にも無料のロッカーを設置する予定です。
2	設計	図書館	・対面読書室は、密室の中に居ると感じないような工夫をしてほしい。	・隣接する職員の作業スペースから内部が見える構造にするなど、プライバシーに配慮しながらも、閉じられた部屋の中に居るといった不安を感じないように工夫します。
3	設計	図書館	・課題解決型図書館として、3階に「健康・安心情報」などの資料を置くことになっているが、2階の分類ごとの一般図書の書架にはそれらの資料を置かないのか。	・3階には、高知県全体の課題である「健康・安心情報」と「ビジネス・農業・産業支援」に重点を置いた資料を配置します。このため、2階の一般図書開架スペースでは、それらの資料が3階にあることをサイン等で分かりやすくお知らせします。
4	設計	図書館	・2階と3階の雑誌コーナーの違いは何か。	・新図書館では、雑誌を約2,000タイトルまで大幅に増やし、2階には一般誌を、3階には「健康・安心情報」、「ビジネス・農業・産業支援」、「多文化」のそれぞれのサービスに関連する専門誌などを置く予定です。
5	設計	図書館	・児童コーナーの中にある「お話コーナー」はどのように使用するのか。	・本の読み聞かせや、ブックトークで使用します。一つの部屋として使うケースとオープンな空間として使うケースを想定して、扉を開閉できる造りにします。
6	設計	図書館	・学習室はどのように使用するのか。	・自学自習を希望する方が利用できる部屋です。具体的な利用方法（時間制による入替等）については検討中です。
7	設計	こども科学館	・十分な広さはないかもしれないが、できるだけ充実した内容にしてほしい。	・展示物を楽しんでいただくだけでなく、サイエンスショーや実験教室など様々な活動が体験できるように、ソフト面の充実についても十分に検討していきます。
8	設計	こども科学館	・「宇宙・地球ゾーン」の宇宙に関する部分が少ない。	・館全体のスペースや予算に制約がある中で、現在、県内にないプラネタリウムを設置することに重点を置いた形にしています。 ・その他にも、重力場（重力が作用する空間）で曲がる星の運行を疑似的に再現した体験型の展示として「スイングバイシュート」を設置するとともに、プラネタリウムの外側の壁面（展示スペース）に天体や宇宙に関するグラフィックを展示する予定です。
9	設計	こども科学館	・プラネタリウムはどの機種を使用するのか。	・現在、必要な機能や仕様を検討中であり、どの機種を使用するかは決まっていません。
10	設計	こども科学館	・収蔵庫の広さは足りるのか。	・現在の子ども科学図書館（潮江市民図書館2階）で所蔵している標本類を入れた後の余裕は考慮していますが、館全体のスペースの関係から、十分な広さが確保できているとは言えません。県内の他の標本類の保管については、別の場所を検討する必要があると考えています。
11	設計	こども科学館	・収蔵庫にはどのような資料を収めるのか。	・現在の子ども科学図書館で所蔵している標本類等を収めます。その他については、専門家等にご意見を伺いながら、検討していきます。
12	設計	駐車場	・ブックポストへの返却のみで駐車場を利用する場合の工夫をしてもらいたい。	・ブックポストへの資料の返却のみで短時間で退出される場合は、手続きをしなくても無料でご利用いただけるように工夫したいと考えています。 なお、新図書館で借りた資料は、県内の市町村立図書館や高知市民図書館の分館・分室、大学図書館（高知大学、高知県立大学（高知短期大学）、高知工科大学、高知学園短期大学）でも返却することができるようにします。
13	設計	その他 （情報システム）	・情報システムは、施設の情報なども全国に発信できるシステムなのか。	・情報システムには、ホームページを簡易に作成・更新できる機能も備えることにしていますので、これにより各施設の情報などを全国に発信していきます。
14	設計	その他 （情報システム）	・デジタルサイネージの端末を市町村立図書館にも置くことができないか。	・1階エントランスロビーに設置するデジタルサイネージは、当日のイベント情報や新着資料などを大型ディスプレイで表示し、来館した方にお知らせするものであり、市町村立図書館への設置は予定していません。 なお、イベントや新着資料などの情報は、ホームページなどを随時更新し、広くお知らせしていく予定です。

No.	大分類	小分類	意見・質問の概要	事務局の考え方
15	運営	図書館	・市町村立図書館等からの質問や要望に応えられるような人的・物的支援を検討してほしい。	・人的支援については、研修などを通じて、職員のスキルを向上させることにより、さらなる充実を図ります。 ・物的支援については、協力貸出し(新図書館の開館後、開館日は毎日配送)や、新図書館情報システムの運用などを通じて充実を図ります。
16	運営	図書館	・市町村の住民から市町村立図書館に図書等の相談があった場合、市町村立図書館が県立図書館の支援を得ることができるのか。	・市町村立図書館が必要な図書等を所蔵していない場合は、県立図書館が市町村立図書館に対して協力貸出しを行います。また、市町村立図書館で解決が困難なレファレンスについても、県立図書館が協力を行います。
17	運営	図書館	・市町村立図書館にとって、物流便が毎日配送されるようになることは大変ありがたく、大いに利用させてもらいたい。	・新図書館は、市町村立図書館等とのより緊密な連携によって、県内全域で図書館利用が活発になり、読書や資料を使った調査・研究、学習が盛んになることを目指しておりますので、ぜひご利用ください。
18	運営	図書館	・開館後の毎年度の図書購入予算はどの程度か。	・県立図書館ではデータベース等も含め1億円程度、高知市民図書館では分館・分室分も含め8,200万円程度を予定していますが、今後の財政状況などにより変動することもあります。
19	運営	こども科学館	・高知市と周辺市町村以外の子どもたちも利用できるよう、広くPRしてほしい。	・個人やご家族での利用のほか、小・中学校の遠足や校外学習の場としてご利用いただくことを想定しており、ホームページの工夫や県広報紙の活用など、広くPRできる方法を検討していきます。
20	その他		・埋蔵文化財発掘調査は、状況によって開館時期に影響するのではないか。	・事前に行った試掘調査の結果も踏まえ、現時点で必要な期間を見込んでいます。

【高知会場】

No.	大分類	小分類	意見・質問の概要	事務局の考え方
1	設計	全体	・年代を問わず様々な利用者のふれあいの場になると期待している。子どもや年配の方々も安心して利用できる施設であってほしい。	・幅広い年代の様々な利用者の来館から退館に至るまでの動作・動線を想定し、配慮のいき届いた施設となるようなユニバーサルデザインを検討しています。
2	設計	全体	・外観デザインは、県内最高の文化の殿堂として、100年後の評価に耐えられ、また、用途に応じたものとしなければならない。	・外観については、これまでの設計作業の中で各方面からご意見をお聞きしながら検討を重ねてきたものであり、今後、大幅な変更は想定していません。
3	設計	全体	・県民の大多数が誇りを持てるような建物にしてほしい。茶色っぽい外観では重厚感が出ないのではないかな。	・外壁等の色については、今後、実施設計の詳細な詰めを行う中で、周辺の景観との調和も考慮しながら検討していきます。
4	設計	全体	・建物北側の2階出入口への階段は雨にさらされるよう見えるが、建物の外観よりも人を大切にすべき。	・建物北側の2階へ通じる屋外階段に屋根等を設置する方向で検討します。
5	設計	全体	・雨の日は、バイク置き場や駐輪場からエントランスロビーまで傘が必要になるのではないかな。雨よけを作ってほしい。	・1階北側のバイク置場と駐輪場は、ピロティ部分(建物本体の1階部分)に設置しますので、屋外に出ることなく北出入口から入館できます。南側の駐輪場を利用される方は、建物の2階部分が張り出した形状になっていますので、その下を通して南出入口から入館することができます。
6	設計	全体	・床・壁材などについて、シックハウス症候群の方に配慮した素材にしてほしい。	・建築基準法に基づくシックハウス対策を行います。 ・自然系塗料などシックハウス原因物質をできるだけ含まない材料を使用します。
7	設計	全体	・トイレを利用する際に、資料を入れた袋などを(吊るすのではなく)置くスペースがほしい。	・荷物が置けるように工夫します。
8	設計	全体	・屋上はどのように活用するのか。	・安全上、通常は閉鎖しますが、こども科学館(仮称)の行事として天体観測や屋外での実験などを行う際に活用する予定です。
9	設計	全体	・津波避難ビルとしての機能の概要(何人が何日間過ごせる等)を教えてください。	・建物の3階以上(標高15m超)のフロアで、3,000人が3日間滞在することができる機能を持たせます。
10	設計	全体	・よさこい祭りの際の防音は大丈夫か。	・よさこい祭りの音を完全に遮音できるようにすることは、コスト面から困難です。このため、現在、県立図書館では2月、高知市民図書館では3月にそれぞれ行っている資料特別整理(蔵書点検)をよさこい祭りの期間に行う方向で検討しています。
11	設計	図書館	・2階の「案内・返却」スペースは、西側だけでなく、東側にも設置した方がよい。	・開架・閲覧スペースの出入口は、蔵書管理の面から、西側のみに設け、それに併せて「案内・返却」スペースも設置することにしています。 なお、館内には、中央の書庫部分を取り囲むような形で四隅にカウンターを設けますので、そちらでも問い合わせや資料の返却が可能です。
12	設計	図書館	・雑誌の冊数に比べ雑誌閲覧コーナーの面積が狭いのではないかな。他の場所での閲覧は可能か。	・雑誌は全体で約2,000タイトルを揃え、2階には一般誌を、3階には専門誌等を置く予定です。 ・閲覧は、雑誌閲覧コーナーに限らず、開架・閲覧スペース内の閲覧席(研究個室、グループ学習室等を含む)で可能です。

No.	大分類	小分類	意見・質問の概要	事務局の考え方
13	設計	図書館	・パソコン利用席が少ないのではないかと。本を見ながらパソコンを利用できるようにしてもらいたい。	・平面図に記載のあるパソコン利用席では、主に図書館側が設置した端末の利用を想定しています。 ・新図書館では、館内全体で無線LANを利用できる環境にしますので、その他の閲覧席で持ち込みのパソコンやスマートフォンを使って、調べ学習をすることも可能になります。 なお、静寂読書室など一部の場所では、パソコン等の使用をご遠慮いただくようにする予定です。
14	設計	図書館	・授乳コーナーが狭すぎる。今後、乳児連れの利用が増えることを予想して、もっと広くし、手洗い場も設置してほしい。	・ご意見を参考に、必要な面積を確保し、設備を備えるよう再検討します。
15	設計	図書館	・2階にも飲食ができるコーナーを作った方が利用者の増加が見込めるのではないかと。	・2階のフリーミーティング・スペースや4階のラウンジでは、一定の条件のもとで飲食を可能にする予定です。
16	設計	図書館	・図書館でボランティア活動をする場合、長時間滞在することも考えられるが、給湯室などは設置されるのか。また、飲食は可能か。	・4階の学習室の西隣に給湯室を設置する予定です。 ・飲食については、2階のフリーミーティング・スペースや4階のラウンジのほか、どの範囲を可能とするか、ご要望も踏まえながら検討していきます。
17	設計	図書館	・4階のホールの面積と用途は。県民・市民も使うには狭いのではないかと。	・現時点の面積は237.65㎡で、収容人数は200人を想定しています。 ・新図書館の一部として整備するものであり、業務での使用を優先しますが、空き時間がある場合には一般への貸出しを行う予定です。大規模なイベント等を開催される場合には、貸館目的で整備している「県民文化ホール」や「高知市文化プラザかるぼーと」をご利用ください。
18	設計	図書館	・こども科学館(仮称)の音が4階まで聞こえてくることはないかと。	・5階のこども科学館(仮称)の床と4階の天井との間には1m程度のスペースを設けますので、4階のホールや研修室、学習室などに直接音が届くことはないと思われます。
19	設計	図書館 こども科学館	・こども科学館(仮称)と(新図書館の)児童コーナーを同じフロアにして、一般図書フロアと分けるといったことは検討したのか。	・科学館(にぎやかな雰囲気の中で楽しく学ぶ)と、図書館(静かに本を読む)とは、施設の基本的な性格が違いますし、運営形態等も異なりますので、フロアを分けて設置することとしています。 なお、同一の建物内にあるメリットを生かして、連携した企画などを実施したいと考えています。
20	設計	こども科学館	・自然光を採り入れるのか。採り入れる場合のUV対策は。	・自然光は資料の劣化に直結するため、採り入れない設計とする予定です。
21	設計	こども科学館	・高知県に関する展示スペースが少ない。室戸ジオパークなど特定のものだけでなく、「高知県の地史」といった県全体をカバーする内容のものを展示してほしい。	・県全体を網羅的に紹介する展示としては、「高知県を触ろう！」(海底まで表現された高知県の地図)や「郷土の科学技術」、「水と生命の発見ボックス」(県内の絶滅種や絶滅危惧種などの生物を紹介)などがありますが、より高知らしさが表現できるように、具体的な展示内容を検討します。
22	設計	こども科学館	・(プラネタリウム以外で)展示アイテムの中に天体や宇宙に関する展示はないのか。	・重力場(重力が作用する空間)で曲がる星の運行を疑似的に再現した体験型の展示として「スイングバイシュート」を設置するとともに、プラネタリウムの外側の壁面(展示スペース)に天体や宇宙に関するグラフィックを展示する予定です。
23	設計	こども科学館	・<科学の不思議-光>の中に、「光の三原色」に関する展示はあるが、「色の三原色」に関する展示がないので整備すべきではないかと。	・「色の三原色」に関する展示についても検討しましたが、常設展示物としては表現が難しいため、サイエンスショーなどで仕組みが学習できるようにしたいと考えています。
24	設計	こども科学館	・収蔵庫にはどのような資料を収めるのか。	・現在の子ども科学図書館で所蔵している標本類等を収めます。その他については、専門家等にご意見を伺いながら、検討していきます。

No.	大分類	小分類	意見・質問の概要	事務局の考え方
25	設計	こども科学館	・収蔵ラックは、免震装置付きのものにしてほしい。	・建物本体を免震構造にしますので、通常の収蔵ラックでも免震の効果が得られると考えています。
26	設計	駐車場	・車いす用駐車場が3台で計画されているが、少ないのではないか。3台の根拠は。	・新図書館では、優先駐車施設として、車いす使用者用3台、移動に配慮が必要な人用2台を設けることにより、高知県ひとにやさしいまちづくり条例の基準(それぞれ2台と1台)を上回る形で整備します。
27	設計	外構	・植栽(高木)計画はどうなっているのか。	・高知市景観計画緑化ガイドラインをクリアする植栽計画としたうえで、高低木のバランスを考慮しながら具体的な配置を検討します。
28	設計	その他 (情報システム)	・自動電話応答では、直接職員が対応することも必要ではないか。	・自動電話応答のほか、スタッフによる電話対応も可能です。
29	設計	その他 (情報システム)	・自動電話応答は不親切で感じが悪い。人(オペレーター)で対応してほしい。	・自動電話応答のほか、スタッフによる電話対応も可能です。
30	運営	図書館	・(図書館の)コア業務とは何か。	・選書やレファレンスサービスに加え、県立図書館では市町村立図書館等に対する支援、市民図書館では分館・分室との連携が挙げられます。これらの業務は基本的に、専門知識を有する司書が担うべきものだと考えています。
31	運営	図書館	・県立図書館と市民図書館の役割分担は。県・市の資料を分けて置くのか。	・現在、両図書館は、住民への直接サービスのほか、県立図書館では、県内の市町村立図書館等に対する支援や全県的な図書館振興、高知市民図書館では、分館・分室との連携などに取り組んでいます。新図書館では、共通する直接サービスを一本化して提供し、固有の業務は、それぞれの館が行っていく形になります。 ・資料については、原則として、同一の分類体系により県・市の区分なく配置します。
32	運営	図書館	・県・市で一体的に図書館運営をしてほしい。館長室も一つでよいのではないか。	・新図書館では、県立図書館と高知市民図書館による利用者サービスは一本化して運営しますが、市町村立図書館等に対する支援(県立図書館)や分館・分室との連携(市民図書館)など、それぞれに果たすべき役割と機能がありますので、組織としては別々に置くことになります。
33	運営	図書館	・県立図書館と高知市民図書館本館が、(新図書館の開館後)ある程度の段階で一つの図書館として運営できるようにしてほしい。二つの図書館の併存は何かと問題の原因となるのではないかと心配している。	・新図書館には、県立図書館と高知市民図書館の二つの組織を置くことにはなりますが、利用者の皆様からは、一つの図書館に見えるような形で運営していきます。 ・ご心配いただいている点に関しては、館内研修やマニュアル等の共通化(統一化)、共通の図書館情報システムの整備・運用を行うなど、県・市の職員が連携・協力して円滑に業務を行えるように工夫します。
34	運営	図書館	・各カウンターでレファレンスサービスを提供するのであれば、職員を増員しなければならないのではないか。	・施設規模が大幅に拡大し、利用者の著しい増加も見込まれることから、一定の増員が必要と考えており、今後、具体的な詰め作業を行っていきます。
35	運営	図書館	・開架・閲覧スペースが広大であるため、書架への返本作業が膨大になるのではないか。	・開架・閲覧スペースが広大なことに加え、貸出冊数も大幅な増加が見込まれますので、返本作業については、業務委託なども含めて検討が必要と考えています。
36	運営	図書館	・職員のローテーションにより、休館日をなくすことはできないか。	・新図書館では、現在、県立図書館、高知市民図書館本館ともに休館している祝日(一部例外あり)を開館し、年間開館日数を10日余り増やすことにより、300日程度開館することを検討しています。 ・図書館では、資料整理日等が必要であり、休館日をなくすことは困難だと考えています。

No.	大分類	小分類	意見・質問の概要	事務局の考え方
37	運営	図書館	・県民・市民へのサービス向上のためにも、開館日をできるだけ多くしてほしい。貸出はできないが閲覧は可能といった日を設定する方法もあると思う。	・新図書館では、現在、県立図書館、高知市民図書館本館ともに休館している祝日(一部例外あり)を開館し、年間開館日数を10日余り増やすことにより、300日程度開館することを検討しています。 ・開館日をこれ以上増やすことは、スタッフの増員に伴うコスト増に直結しますし、レファレンスサービスなどの質の確保が難しくなるといった課題がありますので、実際の利用状況をみながら、再検討するようにしたいと考えています。 ・利用者の自主管理方式等による閲覧のみのサービスについては、安全管理上の問題等から、実現が難しいと考えていますが、サービスを限定することにより開館日時を多くすることができないかどうか検討します。
38	運営	図書館	・県立図書館、市民図書館本館ともに月曜日を休館とするのではなく、どちらかは開館するようにすれば、休館日を少なくすることができるのではないかと。	・新図書館では、県立図書館と高知市民図書館本館の窓口や資料の配架を一体化し、利用者から見れば一つの図書館として運営しますので、どちらか一方を開館して一方を閉館することは困難です。
39	運営	図書館	・資料特別整理期間を現在の2月又は3月から8月に変更した理由は何か。8月は夏休み中であるため、利用者にとって不便だと思う。	・よさこい祭りの期間中は、音や交通規制などにより、図書館の利用に大きな支障が生じることが予想されますので、資料特別整理(蔵書点検)期間として休館する方向で検討しています。
40	運営	図書館	・1月4日を休館日としているのはなぜか(通常、県庁や市役所は1月4日が仕事初めである)。	・1月4日に職員は出勤しますが、年末年始の休館中(12月29日から1月3日まで)に、大量の資料がブックポストに返却されるため、閉館にして返却処理や返本の作業を行うことにしています。
41	運営	図書館	・土日・祝日の閉館時間(午後6時)は早すぎないか。平日と同様に午後8時まで開けるようにしてほしい。	・現在、県立図書館と高知市民図書館本館の土日の閉館時間はともに午後5時(祝日は休館)ですが、新図書館のオープン時には、1時間延長する形(祝日は土日と同じ扱い)でスタートし、実際の利用状況をみながら、再検討するようにしたいと考えています。
42	運営	図書館	・高知市民図書館の分館・分室の開館日時はどのようになるのか。	・分館・分室の開館日時については、新図書館のオープンに伴う変更は予定していません(資料整理日及び資料特別整理期間を除く(調整中))。
43	運営	図書館	・(新図書館で借りた資料の)返却先は新図書館のみか。市民図書館の分館・分室にも返却できるのか。	・新図書館で借りた資料は、高知市民図書館の分館・分室のほか、県内の市町村立図書館や大学図書館にも返却が可能になります。
44	運営	図書館	・本を通して人間教育をしていくためにも、学校図書館との連携を重視してもらいたい。	・学校図書館との連携は重要な課題と認識しており、図書の貸出しやレファレンスの協力などのサービスの充実を図ります(高知市以外の市町村立学校は、原則として市町村立図書館等を経由)。 ・新図書館では、児童書を全点収集するとともに、2階の書庫内に「学校図書支援・団体支援」スペースを設け、学校図書館や市町村立図書館等の担当者が選書の際の参考にできるようにします。
45	運営	図書館	・現在、県立図書館内で活動している土佐史談会の取扱いはどのようになるのか。	・新図書館では、郷土史研究に関する活動のためのスペースとして、郷土史研究室を設置することになっています。
46	運営	図書館	・塩見文庫の貴重資料を新図書館で活用してほしい。	・寄贈いただいている旧塩見文庫の資料については、現在、その一部を県立図書館に配置しており、新図書館でも移設して活用する予定です。
47	運営	図書館	・ソフト面の詳細な案はいつごろ示されるのか。本日と同様に詳しい説明を受けられる機会を設けてほしい。	・基本構想の内容を実現することがソフト面の基本になりますので、現在、職員に占める司書の割合を増やすことなど、人員体制に関して検討を重ねているところですが、ある程度まとまりましたら、分かりやすくイメージできるような方法で、県民・市民の皆様にお知らせしたいと考えています。
48	運営	図書館	・ソフト面の機能を図示すべき。そうすれば、県民・市民に新図書館の存在意義を分かってもらえると思う。	・ソフト面の機能については、現在検討中ですが、ある程度まとまりましたら、分かりやすくイメージできるような方法で、県民・市民の皆様にお知らせしたいと考えています。
49	運営	こども科学館	・専門的知識を有し、資料の管理や説明のできる職員(学芸員)を常駐させてもらいたい。	・そうした職員(学芸員)を配置する方向で考えています。



No.	大分類	小分類	意見・質問の概要	事務局の考え方
50	運営	駐車場	・駐車場の利用時間や料金は。	・施設の利用者は、手続きによって一定時間は無料とし、それを超える分は有料とする予定ですが、具体的な時間や料金については、今後、検討を行います。
51	運営	駐車場	・休日に駐車場を無料にすると、買い物や観光の車で満車になり、本来の利用者が利用できなくなるのではないかと。	・原則として、施設の利用者に館内で手続きを行っていただいた場合に限り、駐車料金を一定時間無料とする予定です。 ・現実的に、駐車場の利用者を施設の利用者に限定することは難しいと思いますが、何らかの工夫をしていきたいと考えています。 ・休日などには、一時的に満車になることも想定されますので、施設の利用者が近隣の有料駐車場に駐車された場合にも一定時間は無料となる仕組みも検討しています。
52	運営	駐車場	・駐車場は無料が望ましいと思うが、近隣の駐車場への影響も考慮して検討しているのか。	・施設の利用者は、手続きによって一定時間は無料とし、それを超える分は有料とする予定です。 ・施設の利用者が、近隣の有料駐車場に駐車された場合にも一定時間は無料となる仕組みなど、近隣の有料駐車場にもメリットが生じるような運用方法を検討しています。
53	運営	駐車場	・ボランティアや研修の参加などで駐車場を長時間利用する場合に配慮をしてもらいたい。	・一般的な利用と異なるケースの取扱いについては、今後、具体例を想定しながら検討を行います。
54	その他		・施設内で病人やけが人が出た場合に、どのように対処するのか。	・4階に救護室を設けて対応することにしており、実際の場面で適切な対応ができるように、マニュアルの整備や訓練の実施も必要だと考えています。
55	その他		・1階のカフェを外部委託する場合、委託先の選定方法や時期はどのようになるのか。	・近隣の類似店舗の状況などを考慮しながら、営業の条件を整理したうえで、募集方法や時期を決定します。
56	その他		・カフェを整備する予定となっているが、近隣への影響はどのように考えているのか。	・近隣の類似店舗の状況などを考慮しながら、営業の条件を整理したいと考えています。
57	その他		・よさこい祭りのときは、北側のベランダで県民・市民が観覧できるようにしてほしい。	・よさこい祭りの期間は、特別資料整理(蔵書点検)期間として休館する予定ですが、ベランダ等の開放については、安全性等も考慮しながら検討します。
58	その他		・新図書館北側の公衆トイレも、多機能トイレをオストメイト対応にすべきではないか。	・維持管理等を考慮しますと、公衆トイレをオストメイト対応にすることは困難だと考えています。 ・施設内の2階及び4階の多機能トイレをオストメイト対応にしていますので、ご利用ください。
59	その他		・建設予定地の西側の敷地の利用予定は。	・当面は、イベント広場や新図書館等の工事用スペースとして活用し、新図書館等がオープンする平成27年度末までに具体的な活用策の検討がなされる予定です。
60	その他		・現在の県立図書館と高知市民図書館の建物は、(新図書館のオープン後)どのように活用する予定か。	・県立図書館の建物は、別の用途で活用することにしており、現在、具体的な用途を検討中です。 ・高知市民図書館本館の建物は、市役所本庁舎の建替え時の仮庁舎として利用した後、解体する予定です。
61	その他		・(建築実施設計の)委託業者名は。	・佐藤総合計画・ライト岡田設計 設計業務共同企業体です。